

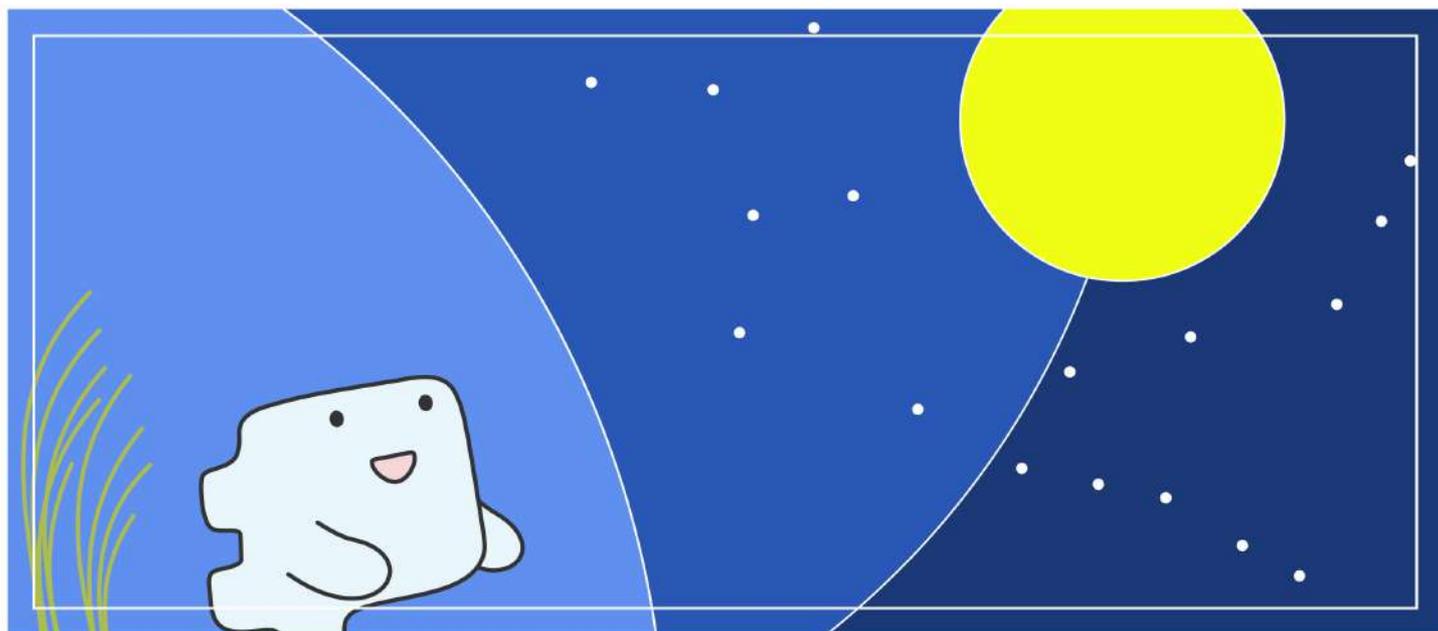
# えんがわ えんがわだより

えんがわ Gallery 報告  
大学生ボランティア大募集(緑ヶ丘)

調布市市民活動支援センター  
市民活動を応援する情報誌  
2022.9 No.192

特集

知っていますか？フレンドホーム  
未来へ向かう子どもをそっと支える制度



—— まちをより良くしたい 誰かのために何かやってみたい ——

当センターは、そんなあなたにそっと寄り添うため、「まちのえんがわになりたい」を合言葉に運営しています。「えんがわだより」は、調布のために活動する団体・ボランティアや寄付活動など、多彩な情報を紹介し、調布がさらに元気になることを願って、毎月15日に発行しています。活動のお問い合わせやご相談のほか、ご感想もお待ちしています。



## 染地 パソコン教室&スマホちょっと相談室

【内 容】1人でパソコンに向かっていてわからないことだらけ…？ パソコン操作で悩んでいる方がラケーからスマホに変えたら、よくわからなくて困っている方、パソコンやスマホの得意な先生方が1対1でわからないことを丁寧にお教えします

【日 時】月3回 第1・4金曜日・第2土曜日 14:00～16:00

14:00～15:00 3名(予約制) 15:00～16:00 3名(予約制)

【場 所】多摩川住宅口-7号棟 A集会室(染地地域福祉センター改修工事のため会場変更になっています)

【備 考】各3名 予約制 【問合せ】市民活動支援センター 渡邊 042-443-1220(火～土)



## 「調布憲法ひろば」9月学習会

7月の参院選では改憲派が3分の2以上となりました。憲法は改正されるのでしょうか

【日 時】9月18日(日) 13:30～16:00 【場 所】たづくり 1001学習室

【テーマ】参院選の結果と憲法問題 お話:菱山 南帆子さん(市民運動活動家)

【備 考】参加費:300円 【主 催】調布九条の会「憲法ひろば」(通称:調布憲法ひろば)

【問合せ】042-487-7710 (石川)

## フレイル予防の「おんがく広場」♪

懐かしい歌に合わせた体操や、太鼓を叩いて心と身体を活性化！健康増進につなげます

【日 時】10月3日(月) 10:00～11:00 【場 所】たづくり 第1・第2音楽室(地下2階)

【対 象】高齢者 【備 考】参加費500円、予約不要、感染防止対策の為、人数制限をさせていただきます 【問合せ】原真理子(日本音楽療法学会音楽療法士) 090-4208-8688



## こんぺいとう子育てひろばの開催場所と活動日の変更について

富士見町ふれあいの家改修工事(令和4年9月1日(木)～令和5年1月31日(火))に伴う、開催場所と活動日が変更になっていますのでご注意ください

【内 容】開催場所:富士見町ふれあいの家 × ➡富士見地域福祉センター ○ 活動日:「木曜日」開催になりました 毎週火曜日 × ➡毎週木曜日 ○ ご注意ください 【日 時】活動日:毎週木曜日 13:30～16:30

【場 所】富士見地域福祉センター(富士見町4-15-6) 【対 象】主に0歳児～2歳児の親子 【備 考】事前申込は不要ですが、密な状況になる場合は入室をお断りする場合があります(参加費無料)

【問合せ】NPO法人 調布子育てを結ぶこんぺいとうの会 こんぺいとう子育てひろば mail:hiroba@conpeitou.org





## 緑ヶ丘児童館の中・高校生世代のフリースペース in 緑ヶ丘地域福祉センター

緑ヶ丘児童館お隣の地域福祉センターで、7月から中・高校生の居場所、始めてます！

【内 容】フリーWi-Fiやコンセントのある所で、自習したり、勉強に疲れたら工作やボードゲームやタブレット！隣の児童館でスポーツも！

【日 時】9月24日 10月1日、8日、15日、22日、29日 ※毎週土曜日の13:00～17:00

【場 所】緑ヶ丘地域福祉センター 【対 象】中・高校生ならだれでも

【備 考】友達と一緒に来て、おしゃべりするのもOK！常に児童館の人がいます！

【問合せ】NPO法人ちょうふこどもネット

調布市立緑ヶ丘児童館 担当:住田03-3309-0521

mail: midogaku@hotmail.com



フリースペースの様子



## 不要になった「入れ歯」をご寄付ください

不要になった「入れ歯」を処分せず、ご寄付をお願いいたします。歯にかぶせた金属歯に詰めた金属、歯と歯をつないだ金属も貴重な資源に生まれ変わります

【内 容】入れ歯に含まれる金属を集めてリサイクルし、その収益をユニセフを通して世界の子どもたちを支援するNPO法人の活動に、協力をしています。その収益の一部は市民活動支援センター助成プログラム「えんがわファンド」の原資にもなっています

【備 考】不要になった入れ歯の「回収BOX」は、総合福祉センター1階に設置しています

【問合せ】小島町コーナー ☎042-481-7695



入れ歯の回収BOX

## -えんがわGallery 報告-

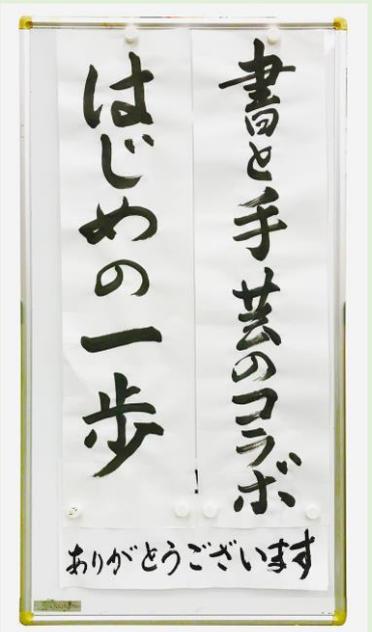
市民活動支援センターあくろすで活動している手芸グループ「クローバー」の皆さんと、書道グループ「汀秋会(ていしゅうかい)」の皆さんが、えんがわGallery初のコラボレーションを行いました。気の合う仲間と作品作りを楽しみ、両グループにとって初めての出展にもなりました。自分以外の誰かに見てもらうことで更なる達成感を得られ、良い経験になったようです。作品をご覧になった方からは「ほっこりした!」「個性が輝いていた!」などの温かいメッセージが寄せられました。

皆さんも思いの詰まった作品をえんがわGalleryで展示してみませんか?

ご興味のある方は、センタースタッフへお気軽にお声掛けください!お待ちしております。(鈴木)

ご覧になった方からのコメント 抜粋

- どの作品も素敵で、個性的で、素晴らしいです。幸せな気持ちになりました。
- 展示内容がバラエティーで、見ていて楽しかったです。とても明るい気持ちになりました。
- はじめの一步、とても身近に感じ、使い勝手の良い作品を楽しませていただきました。



コラボ 大成功!  
嬉しい気持ち!  
(グループ代表より)

# 未来へ向かう子どもを そっと支える制度

## 知っていますか？フレンドホーム

### ●調布市の児童養護施設

みなさんは、調布市に2つの児童養護施設があることを知っていますか？児童養護施設・乳児院では、虐待や親の病気など、様々な事情によって家庭で暮らすことができない子どもたちが暮らしています。

#### 調布学園・第二調布学園

運営 社会福祉法人 六踏園  
調布市富士見町3-18-1



#### 二葉学園

運営 社会福祉法人 二葉保育園  
調布市上石原2-17-7



今回の特集記事では、施設で暮らしている子どもたちの「成長」や「未来」に関わり、そっと支える「フレンドホーム制度」について紹介します。

### ●フレンドホーム制度とは

児童養護施設で生活している子どもたちの中には、施設での生活が長く、家庭での一般的な経験がほとんどない子どももいます。そのため、学校が休みの期間などに一般家庭で預かり、施設で経験することができない家庭での生活体験を提供するのが「フレンドホーム」で、東京都の制度です。

フレンドホームの多くは、子どもの状況等により、個々に頻度は異なりますが、その子どもが施設を出るまで、数日間単位の交流を継続して行っています。



東京都福祉保健局  
フレンドホーム制度について

### ●フレンドホームに協力している方の声

#### フレンドホームAさん(フレンドホーム歴9ヶ月)

きっかけは私が病気で子どもを産めない体になったことです。里親制度はハードルが高く感じましたが、フレンドホームは比較的敷居が低く感じました。

子どもと一緒に思い出をつくるのが楽しいですし、お魚をさばけるようになったり、人狼ゲームをしたり、毎回新しい彼女を発見すると嬉しくなります。

最初は楽しんでもらえるようにと頑張っていましたが、途中から力を抜いて、むしろ彼女に甘えるくらいのほうが良いと感じました。

ただ、盲点だったのはお金がかかることです。どこかへ連れて行ってあげたいと思う一方で、交流の頻度が多いと負担になるご家族もいらっしゃると思います。各々のボランティア精神に頼るだけではなく、手厚いサポートを国や自治体レベルで検討いただきたいです。

(※フレンドホーム制度は現在、1日当たり2,300円の謝礼が支払われています。以前は支払いの対象が、1泊2日からでした)

#### フレンドホームKさん(フレンドホーム歴15年)

きっかけは、私が幼い頃、両親が姉の入所する障がい者施設の子どもの預かっていた事があったため、興味を持っていたところに、偶然パンフレットを見つけ登録したことです。

今まで2人のお子さんを預かりましたが、一人目の子は小2から預かり、とても人懐っこく元気で明るい女の子でした。現在は成人を迎えています。

二人目の女の子は、緊張からか交流がスムーズにいくまで少し時間がかかりました。本人の緊張という言葉の裏には、私たちには計り知れない経験があると思いますが、私たちは、楽しいことを一緒に沢山経験したいという気持ちが少しでも伝わればと思いながら接しています。

## ●フレンドホームで実際に交流した子どもたちの声



小3 女児 交流歴1年半

- ・好きなご飯を作ってくれるのが嬉しい
- ・いっぱいお話ができて楽しい

小1 女児 交流歴半年

- ・一緒にご飯作りができることが楽しい
- ・自分が寝るまで添い寝してくれるのが嬉しい

小5 女児 交流歴4年半

- ・楽しいところに連れていってくれる
- ・たくさんお出掛けができる
- ・スーパーとか雑貨屋さんにお買い物に行くことが楽しい
- ・ペットの犬の散歩が楽しい

小5 女児 昨年12月に交流開始

(初めての宿泊交流(1泊)を終えて)

- ・釣りが楽しかった



高1 男児 交流歴12年

フレンドホームさんには小さい頃から見てもらっているんで、自分のことをよく分かってきていると思う。

フレンドホームさんとの関係は長い方がいいと思う。自分は施設にいて母親と会うことがほとんどないので、フレンドホームさんのことは、「母親ってこんな感じかな」と思う。施設職員にも叱られなかったことを、自分のために叱ってくれて嬉しかった。

フレンドホームさん宅の子どもとも年が近く、すごく仲良しで、いてくれてよかったと思う。これからもフレンドホームさん家族と長く付き合っていきたい。



## ●児童養護施設担当職員の想い

児童養護施設は現在、小規模化・地域化の流れの中にありますが、子どもたちは集団生活を送っています。また、担当職員は交代制の勤務です。そうした中、子どもたちはフレンドホームさんのように、「自分のためだけに来てくれる人」の存在を求めています。子どもの好きなご飯を一緒に作って食べたり、テレビを一緒に見たり、ペットの散歩に一緒に行ったり…普段の何気ない生活を一緒に過ごす中で、子どもたちは施設とは違う「家庭」の存在や、「家族」の関係性を知ります。それは、子どもたちがこれから先、自分の生活や家族を作っていく上で、とても大事なことです。そして施設職員としては、子どもたちがフレンドホームさんと一緒に楽しい時間を過ごし、大事にされていることを何より感じて欲しいと思っています。

## ●地域の愛情で地域の子どもを育てる温かなまちづくり

核家族化が進み、共働き家庭が増えたことなど、様々な要因から家庭内の役割や夫婦の負担が増える中、コロナ禍の影響もあり、これまで当たり前とされていた家族の形の維持が難しくなっているのかもしれませんが。児童養護施設で生活する子どもたちに限らず、社会や家庭環境の変化から負の影響を受けてしまう子どもたちに対して、私たち地域の大人が何をすべきかは重要な課題だと感じています。

市民活動支援センターでも、子育て中のママやパパがちょっと息抜きできる場づくりや気軽に情報共有できるつながり作りなどに取り組んでいます。地域の中に多様なきっかけや入り口があることが大切だと考えています。

今回紹介したフレンドホーム制度も、地域の愛情で地域の子どもたちを育てていく1つの入り口だと思います。児童養護施設での生活を経て、1人の大人として社会に出ることを求められた時に、フレンドホームで得た経験や、いただいた愛情がきっと大きな糧として子どもたちの背中を支えるのだと思います。

問い合わせ先

調布学園・第二調布学園

電話 042-483-7611 メール [jidoyogo@chofugakuen.com](mailto:jidoyogo@chofugakuen.com) 担当者 日下部・逆井

二葉学園

電話 042-482-2578 メール [gakuen@futaba-yuka.or.jp](mailto:gakuen@futaba-yuka.or.jp) 担当者 田淵



# ボランティアだより



## 1 大学生ボランティア大募集！ in 緑ヶ丘児童館

緑ヶ丘児童館で子どもたちと一緒に遊び、体験、勉強してくれる大学生を募集しています！



【内容】小学生と一緒に遊んだり、勉強を教えたり、イベントに参加など体験のチャンス！

【日時】月曜日～金曜日の14時～18時 ※週1日以上【場所】調布市立緑ヶ丘児童館 ※仙川駅より徒歩13分

【募集数】10名程度 ※事前にお申し込みください。【対象】・何かボランティアがしたい ・子どもに関わる仕事に興味がある ・大学で学べないことを学びたい人【備考】一人でも、グループでも参加できます

【問合せ】NPO法人ちょうふこどもネット 調布市立緑ヶ丘児童館 03-3309-0521

mail: midorigaoka.jidoukan@gmail.com 担当: 住田



## 2 保育施設でのボランティアさんを募集しています

0歳児から2歳児まで、定員5名の小規模保育施設です。平成29年4月より地域型保育事業として国から許可を受け家庭的な雰囲気の中で、子どもに寄り添った家庭的保育サービスを目指しています

【内容】乳幼児の遊び相手、見守り、オムツ替え、環境整備

【日時】週2日 午前9時～12時の間の2時間程度

【場所】家庭的保育施設たんぽぽ 調布市八雲台1-22-1 八雲台クリーンハイム103号

【対象】子どもが好きな方、座ったり立ったりの動作が苦でない方、施設近隣にお住まいの方若干名募集 【備考】交通費支給、活動後に給食の支給有り

【問合せ】家庭的保育施設たんぽぽ 藤枝 042-444-5718 mail: tanpopo2430@yahoo.co.jp



## 3 学習支援のボランティア講師を募集しています！【有償】

NPO法人子どもの未来を紡ぐ会が運営する学習支援事業「学習教室ミライエ」では、ボランティア講師を募集しています。経済的な問題を抱えた家庭の子どもたちを支援するために2017年から活動をしており、①基礎学力の定着 ②学習習慣の定着 ③自己肯定感の醸成、の3つを指導理念に掲げています

【内容】小学5年生から高校2年生までの数学・算数の学習指導

【日時】原則毎週土曜日10:00～11:30（毎回参加できる方）

【場所】市民活動支援センター【応募方法】NPO法人子どもの未来を紡ぐ会

WEBサイトよりご応募ください。https://tsumugu2017.jimdofree.com

【備考】募集人数は若干名。謝金あり。詳細はWEBサイトをご覧ください

【問合せ】NPO法人子どもの未来を紡ぐ会 多田 info@tsumugu.org



詳細はこちらから

## ボランティアガイダンスに参加しませんか（要予約）

初めてボランティアに参加する方も、安心して活動をスタートできるようサポートをしています

※マスクの着用、検温にご協力ください ※ご本人及びご家族が、体調不良の場合は、参加をお控えください

9月21日(水) 10:00～11:00

場所:総合福祉センター 2F 小島町コーナー

問合せ:担当・浅見/佐藤 042-481-7695(月～金)

10月21日(金) 10:00～11:00

場所:西部地域福祉センター内 西部コーナー

問合せ:担当・涌井 042-426-4335(火～土)



# 市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

竹の春

## 市民活動支援センター(あくろす) つながりづくり

調布サマーボランティア2022が、今年も無事に終了しました。今夏は新型コロナが過去最大の感染者数を記録し、プログラムの中止やキャンセルなど、大きな影響を受け対応に苦慮しました。

そんな中でも多くの方がプログラムに参加してくれました。初めてのボランティアで緊張する方、毎年参加してくれている慣れた方、その様子はさまざまです。

活動の中で楽しさに気づき、「もっとやってみたい」と、相談をしてくれる方がたくさんいらっしゃいました。夏休みが終わっても活動を続けることにした方、自分の活動の立ち上げについて団体と相談をする方もいました。私たちが間に入らなくても、これからは自分たちでその想いを伝えることができます。

これは、調布サマーボランティアの一番の目標“つながりづくり”です。興味や気になったことが、活動参加のきっかけとなります。調布サマーボランティアを通じて、活動者の世界が広がり、次のステップに踏み出してくれることをうれしく感じています。

(うえの)



グッドモーニング調布！  
初の学生ボランティアリーダー

## 市民活動支援センター(あくろす) 頭と心のリフレッシュ

コロナ禍で3回目の夏休み、みなさまはどのように過ごされましたか？私は、長年関わっている子ども会の夏合宿の引率で、山梨県の清里「調布市八ヶ岳少年自然の家」に4泊5日で行ってきました。ここでは、中学生以上を対象に1日6時間以上の自習時間を確保し、引率の大人も含め、参加者一人ひとりが、「自分の学習」に取り組みます。

私はこの時間の中で、「オンラインを使ったレクリエーションを考える」に取り組みました。その中の一つ「創ってみよう一文字漢字」を紹介します。

# 掬

与えられた「お題」から、新しい漢字を作るという脳トレ的な遊びです。一つの例として「ハイタッチ」を考えてみましょう！私は、上の様な漢字を考えました。イメージとして、「二人の人が上で手を叩く」です。他にも、「パソコン」「ウーバーイーツ」等はいかがでしょうか？皆さんは、どんな漢字を考えますか？

ぜひチャレンジしてみてください。私にとっては、一文字漢字を考えることも、合宿の引率に行くことも、素敵なりフレッシュの時間になりました。

(たかぎ)



共に過ごす「学び」の時間

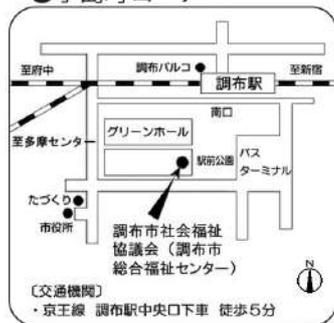
# センターと各ブランチへのアクセス

## ●市民活動支援センター



調布市国領町 2-5-15 コクティーフ  
Tel 042-443-1220  
Fax 042-443-1221  
Mail npo-center@ccsw.or.jp  
開館時間 8:30～22:00  
休館日 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)

## ●小島町コーナー



調布市小島町 2-47-1  
総合福祉センター 2F  
Tel 042-481-7695  
Fax 042-481-6611  
Mail kojimacho@ccsw.or.jp  
開館日時 月～金曜日  
9:00～17:00  
コーディネーター 佐藤・浅見

## ●染地コーナー



調布市染地 3-3-1  
染地地域福祉センター内  
Tel/Fax 042-481-3790  
Mail somechi@ccsw.or.jp  
開館日時 火～土曜日 9:00～17:00  
コーディネーター 渡邊

## ●西部コーナー



調布市上石原 2-15-6  
西部地域福祉センター内  
Tel/Fax 042-426-4335  
Mail seibu@ccsw.or.jp  
開館日時 火～土曜日  
9:00～17:00  
コーディネーター 涌井

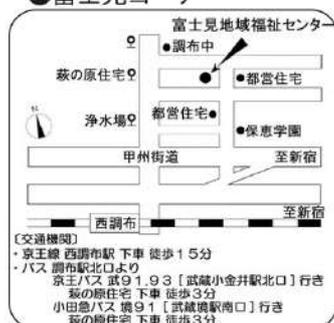
8月1日～2023年3月末まで改修工事のため休館いたします  
工事期間の連絡は市民活動支援センター(あくろす)まで

## ●菊野台コーナー



調布市菊野台 1-38-1  
菊野台地域福祉センター内  
Tel/Fax 042-481-6500  
Mail kikonodai@ccsw.or.jp  
開館日時 火・木・土曜日  
9:00～17:00  
コーディネーター 青木

## ●富士見コーナー



調布市富士見町 4-15-6  
富士見地域福祉センター内  
Tel/Fax 042-481-8719  
Mail fujimi@ccsw.or.jp  
開館日時 火・木・土曜日  
9:00～17:00  
コーディネーター 岡澤

## ●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘 2-18-49  
緑ヶ丘地域福祉センター内  
Tel/Fax 03-3326-4088  
Mail midori@ccsw.or.jp  
開館日時 火・木・土曜日  
9:00～17:00  
コーディネーター 折原

## ●野ヶ谷の郷



調布市深大寺東町 6-27-3  
Tel/Fax 042-481-1838  
開館日時 火・木・土曜日  
10:00～16:00

## ボランティアさんで運営する地域の居場所

であい・ふれあい・支えあい

### 野ヶ谷の郷

何十年ぶりの折り紙挑戦!  
半分に折って広げて、角と角を合わせで...  
一つ一つの丁寧な作業が  
綺麗に仕上がるコツ  
集う人々と笑顔の会話に  
優しい時間が流れる



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する

## えんがわファンドサポーター募集中 1口3,000円



会費は、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。  
「調布のまちをあなたが変える」そんな1歩を踏み出してみませんか?